

2017/3/16 (木)

『地域資源(魅力)と広域交通(経路)を活用した 観光活性化』について

北陸新幹線金沢開業前後における観光動態分析 (和倉温泉・七尾地域) から見える課題

金沢大学 理工研究域 環境デザイン学系

高山 純一 教授

藤生 慎 助教

金沢大学 先端科学・イノベーション推進機構

平子 紘平 特任助教

北陸地域とは

2013年度 漁業・養殖業生産統計

フグ類	全国1位 (石川県16.9%)	全国3位 (富山県7.5%)
ブリ類	全国4位 (石川県7.3%)	
サケ・マス類	全国4位 (富山県0.4%)	
ホッケ	全国3位 (石川県0.3%)	
サワラ	全国2位 (福井県11.4%)	全国5位 (石川県6.1%)
ハタハタ	全国4位 (石川県13.8%)	
アマダイ類	全国4位 (福井県8.2%)	
ニギス	全国1位 (石川県28.3%)	
サンマ	全国5位 (富山県6.3%)	
海産哺乳類	全国4位 (石川県4.0%)	
イカ類	全国4位 (石川県6.9%)	

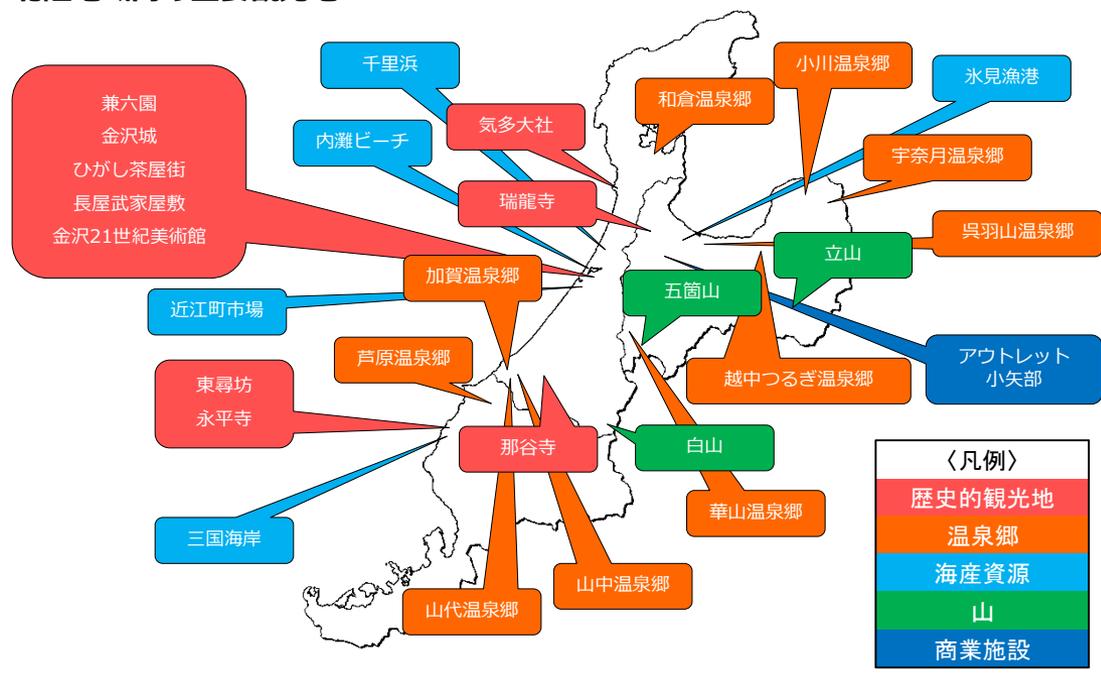
引用：地域ラボトリ「平成25年度 漁業・養殖業生産統計」

金沢市内主要観光地の人出

兼六園	伸び率+142%
ひがし茶屋街	伸び率+187%
長町武家屋敷休憩館	伸び率+185%
金沢21世紀美術館	伸び率+128%

引用：石川県金沢市・兼六園管理事務所、
金沢市広報広聴課「金沢市内主要観光地の人出」

北陸地域内の主要観光地



2015年総まとめ！年間人気ランキング

予約急上昇のレンタカー貸出エリア	全国1位 (富山県 前年比+71.1%)	全国2位 (石川県 前年比+68.5%)	
国内旅行年末年始、人気急上昇エリア	全国1位 (富山県 前年比+68.9%)	全国3位 (福井県 前年比+37.5%)	全国7位 (石川県 前年比+36.5%)
年間注目エリア	全国1位 (石川県 前年比+40.1%)	全国4位 (富山県 前年比+32.0%)	
予約急上昇のバス路線	全国2位 (大阪⇄福井県/石川県 前年比+787.3%)		

引用：楽天トラベル「2015年総まとめ！年間人気ランキング」

- 観光スポット及び観光資源が豊富、立地がいい。
- 今、観光目的地として最も注目されており、当地域の観光行政にとって、観光動態の実態解明は急務である。

既存研究の整理と本研究の位置付け

① 観光分野における旅行者動態・周遊行動に関する研究

- 佐々木ら¹⁾ は山梨県及び長野県の訪問者を対象としたアンケート調査に基づいて観光客の周遊特性を把握し、周遊特性から観光客の想起している観光圏を、潜在セグメントモデルを推定し分析している。潜在セグメントを規定する有意な変数がなく、想起観光圏域を推定できていないことを報告している。
- 伊藤²⁾ は、宮島における来島者を対象としたアンケート調査及びGPSロガーデータに基づいて、歩行者中心の観光地における観光客の歩行距離と消費行動の実態を分析している。観光客の周遊パターンや土産物購買が滞在時間の中心であることなどを報告している。
- 末原ら³⁾ は、国の事業評価制度に則り、九州新幹線開業5年目に実施した事業評価を基に、観光を中心に沿線内外での取組み・効果を紹介し、新幹線沿線外の地域でも開業効果を広域的に享受できる可能性や観光地の地域特性によって魅力向上の施策が異なることを明らかにしている。

② 観光分野における旅行者意識に関する研究

- 轟ら⁴⁾ は、石川県能登半島地震に関する行政の対応状況を整理し、アンケート調査に基づく、風評被害に対する旅行者意識の実態及び行政の対策の影響を分析している。
- 藤井ら⁵⁾ は、ドライブ観光総合情報誌が観光行動や意識に与える影響について分析しており、旅行者による掲載スポットへの来訪意図や来訪経験などを示している。

観光分野における研究を

レビューした結果

新幹線開業の前後における旅行者の動態変化に関する分析や観光行政職員と旅行者意識の相違及びそれらと旅行者動態や満足度の関連性に関する研究が十分になされておらず、現在、情報蓄積の段階であるといえる。

本研究の背景と目的

(背景)

■ 2015年3月『北陸新幹線開業』

→益々の交流人口拡大が期待されている。北陸地域では、旅行者数の増加や注目度の上昇が見られ、観光振興地域として、今、大きな局面を迎えているといえる。

■ 新幹線開業に伴う観光分野の研究、及び行政職員と旅行者の意識に関する研究が不十分

→昨今、九州地域を始めとした数多くの国内観光振興地域が、旅行者の滞在時間の引き伸ばしやリピーターの獲得を目指す一方で、北陸地域における新幹線開業に伴い増加した新規旅行者の受け入れ態勢が十分であるかの検討、及び、新幹線開業前後における旅行者動態・意識の変化や開業後における観光実態の把握が十分であるとはいえない。

■ 平成28年度『七尾市総合戦略』

→豊富な地域資源や地域文化財を全面的に活用して、交流人口の拡大を図りたい。そのためにも積極的なPR活動を行い、魅力を発信したい。



(目的)

- ① 北陸新幹線開業の直前・直後における旅行者動態の変化や現状の把握
- ② 訪問回数別旅行者意識を把握し、リピート要因・新規旅行者層の明示
- ③ 行政職員と旅行者との意識の違い、及びPRすべきターゲットの明確化

(調査・分析方法)

- 調査方法：アンケート調査法
- 分析方法：基礎集計，多変量解析

アンケート調査・概要

	 簡易版	 詳細版	 地元職員		
調査期間	2014年11月 ～2016年3月 (17ヶ月)	2015年4月 ～2016年3月 (12ヶ月)	2015年11月 ～2016年12月 (2ヶ月)		
対象地域	1. 和倉温泉 2. 七尾市内 3. 能登島 4. 能登小牧台 	1. 和倉温泉 2. 七尾市内 	1. 七尾市役所職員		
調査項目	1. 旅行目的 10. 年齢 2. 同伴者 11. 職業 3. 旅行人数 4. 滞在期間 5. 利用交通手段 6. 居住地 7. 旅行頻度 8. 訪問回数 9. 性別	1. 年齢 2. 性別 3. 職業 4. 居住地 5. 旅行人数 6. 同伴者 7. 滞在期間 8. 予算 9. 利用交通手段 10. 訪れた観光スポット 11. 訪れたお土産処 12. 訪れた食事処 13. 参加した体験プログラム 14. 訪れた観光施設 15. 訪問動機	16. 訪問回数 17. 今回までに参加した季節 18. のイベント 19. 再訪願望 20. 次回の希望訪問季節 21. 次回の希望滞在期間 22. 次回の希望利用交通手段 23. 満足度 24. 満足した項目 25. 希望旅行プラン 26. 温泉街に求める項目 27. 和倉温泉に対する評価	1. 年齢 2. 性別 3. 職業（勤務経験部門） 4. 世帯内家族構成 5. 居住地 6. 同伴者別旅行回数 7. 最大旅行日数 8. 直近旅行の予算 9. 直近旅行の利用交通手段 10. 予想人気観光スポット 11. 予想人気お土産処 12. 予想人気食事処 13. 予想人気体験プログラム 14. 予想人気観光施設 15. 予想旅行者層変化	16. 予想旅行者増加量 17. 予想人気季節イベント 18. リピーター増加予想 19. 予想人気季節 20. 予想旅行者増加期間 21. 交通の課題点 22. 強み 23. 弱み 24. おすすめ旅行プラン 25. 求めるもの 26. 評価 27. 土産商材 28. 七尾市内観光行政に対する る所・短所
回収率	回収枚数：2530枚 (配布枚数：22500枚 回収率：11%)	回収枚数：316枚 (配布枚数：10000枚 回収率：3%)	回答数：159		

アンケート調査票・回収状況

全旅行者アンケート調査票 回収状況

簡易版アンケート調査票			詳細版アンケート調査票			(参考) 学生手配布		
回収枚数	配布枚数	回収率	回収枚数	配布枚数	回収率	配布数	回収枚数	回収率
2530	22500	11.24%	316	10000	3.16%	600	146	24%

『月別アンケート回収状況』について

簡易版は冬季における回収枚数が多い。
 詳細版は夏季・冬季の回収枚数が多い。

『最終アンケート回収状況』について

手渡しアンケートの回収率としてはかなり低い。
 要因は、新幹線開業に伴い、本調査と同様な調査依頼が旅館に殺到したためと考えられる。

簡易版アンケート調査票 回収状況

	和倉温泉街			七尾市内			能登島			能登小牧台		
	回収(枚)	配布(枚)	回収率(%)	回収(枚)	配布(枚)	回収率(%)	回収(枚)	配布(枚)	回収率(%)	回収(枚)	配布(枚)	回収率(%)
開業前												
2014年11月												
2014年12月	163	a		276	b							
2015年1月	109	(a+b=20		197	(a+b=20							
2015年2月	104	00)		155	00)							
2015年3月												
開業後												
2015年4月				6								
2015年5月				16			3					
2015年6月				1			78	1000	25.30%			
2015年7月	4000		1.20%	4000		2.38%				153	1000	16.40%
2015年8月	48			72						117		
2015年9月							55					
2015年10月												
2015年11月	27						113			150		
2015年12月	382	4000	10.23%	243	4000	6.08%	10	1500	8.20%	41	1000	19.10%
2016年1月												
2016年2月												
2016年3月												
合計	833	8000+a	-	966	8000+b	-	376	2500	15%	355	2000	18%

詳細版アンケート調査票 回収状況

	和倉温泉街			七尾市内		
	回収(枚)	配布(枚)	回収率(%)	回収(枚)	配布(枚)	回収率(%)
開業前						
2014年11月						
2014年12月						
2015年1月						
2015年2月						
2015年3月						
開業後						
2015年4月	21			36	1500	7.67%
2015年5月	29			44		
2015年6月	3	3500	1.51%	29		
2015年7月				3		
2015年8月						
2015年9月				3		
2015年10月				2	1500	0.13%
2015年11月	95					
2015年12月	51	3500	4.17%			
2016年1月						
2016年2月						
2016年3月						
合計	199	7000	3%	117	3000	4%

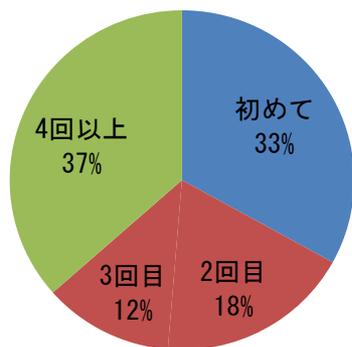
1. 北陸新幹線開業前後における旅行者動態の変化・実態把握

旅行者アンケートの基礎集計結果・多変量解析結果を用いて、開業前後での変化から新規旅行者を明確化、及び開業後における旅行者の地域特性を把握しターゲットを明確にした。

旅行者アンケート調査・まとめ	和倉温泉街	七尾市内	能登島	能登小牧台
開業に伴った変化	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢旅行者が大きく増加。 ・退職者の旅行が大きく増加。 ・滞在期間が増加。 ・関東からの旅行者割合に変化なし。中部からの旅行者は大きく増加。 ・金沢方面からのレンタカー利用が増加。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢旅行者が微増。 ・退職者の旅行が増加。 ・観光目的旅行者が大きく増加。 ・滞在期間が増加。 ・関東からの旅行者が微増。 ・平均旅行回数の少ない旅行者が増加。(要因：観光目的旅行者の増加) ・団体バス・JR(金沢方面)の利用者が増加。 	-	-
開業後の実態	<ul style="list-style-type: none"> ・関西地域からの旅行者が最大割合。 ・二人・夫婦・家族旅行が非常に多い。 ・自動車を利用した旅行が非常に多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・男性旅行者が女性旅行者の約3倍。(要因：ビジネス目的旅行者や家族旅行車が多いため) ・会社員旅行者が全体の約半数。 ・滞在期間が比較的長い。 ・個人・家族旅行が非常に多い。(要因：ビジネス目的旅行者の同伴者には個人・家族旅行が多い) 	<ul style="list-style-type: none"> ・学生旅行者が比較的多い。(要因：合宿目的の地として利用されているため?) ・旅行者の殆どが遠方居住者。特に、中部からの旅行者割合が非常に大きい。 ・5人以上・友人同伴旅行が非常に多い。(おそらくスポーツの団体合宿) ・団体バス旅行が比較的多い。また、自動車旅行が非常に多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・旅行者の平均年齢が約66歳と非常に高い。 ・滞在期間が比較的長い。 ・旅行者の殆どが遠方居住者。 ・二人・夫婦旅行が非常に多い。 ・旅行回数が多い旅行者が比較的多い。 ・自動車旅行が非常に多い。
まとめ・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢旅行者をターゲットとした観光地づくりにより、新規旅行者の獲得が見込める。 ・夫婦旅行をターゲットとした観光地づくりにより、満足度向上やリピーターの獲得が見込める。 ・レンタカー・自動車利用者に快適な観光地づくりが必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネス旅行者と思われる回答が多く見られた。 ・ビジネス目的旅行者(個人旅行者、家族旅行者)をターゲットとしたサービスが効果的である。 ・観光目的旅行者の増加も見られ、団体バスや鉄道旅行者に対応した(徒歩等の移手段に適した)観光地づくりにより、新規旅行者の獲得が見込める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ団体合宿旅行者と思われる回答が多く見られた。 ・遠方旅行者(特に中部居住者)や団体旅行者(おそらくスポーツ合宿旅行者)、マイカー旅行者(昇龍道?)をターゲットとした観光地づくりにより、観光地やスポーツ合宿地域として発展が見込める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・余暇のある高齢旅行者と思われる回答が多く見られた。 ・高齢旅行者、遠方旅行者、夫婦旅行、マイカー利用者(昇龍道?)をターゲットとした観光地づくりが必要。 ・旅行回数が多い旅行者を満足させる、ご当地ならではの観光地づくりが必要。

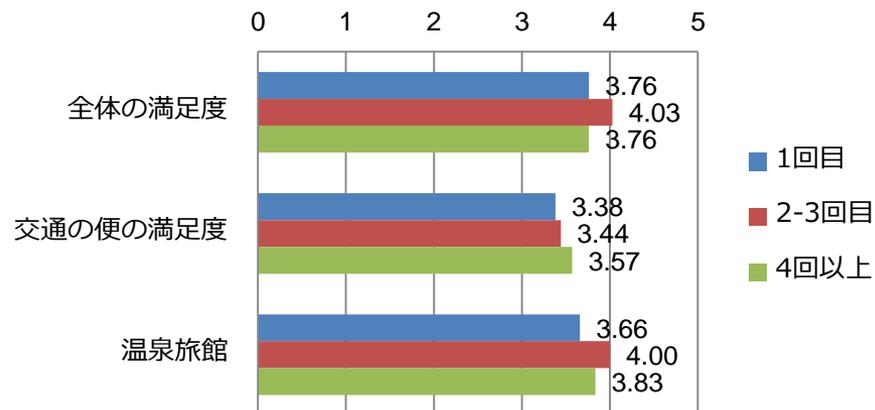
分析結果（訪問回数別満足度・基礎集計）

和倉訪問回数（N=230）



『和倉訪問回数』について
リピーターが全体の約3分の2

訪問回数×満足度（N=230）

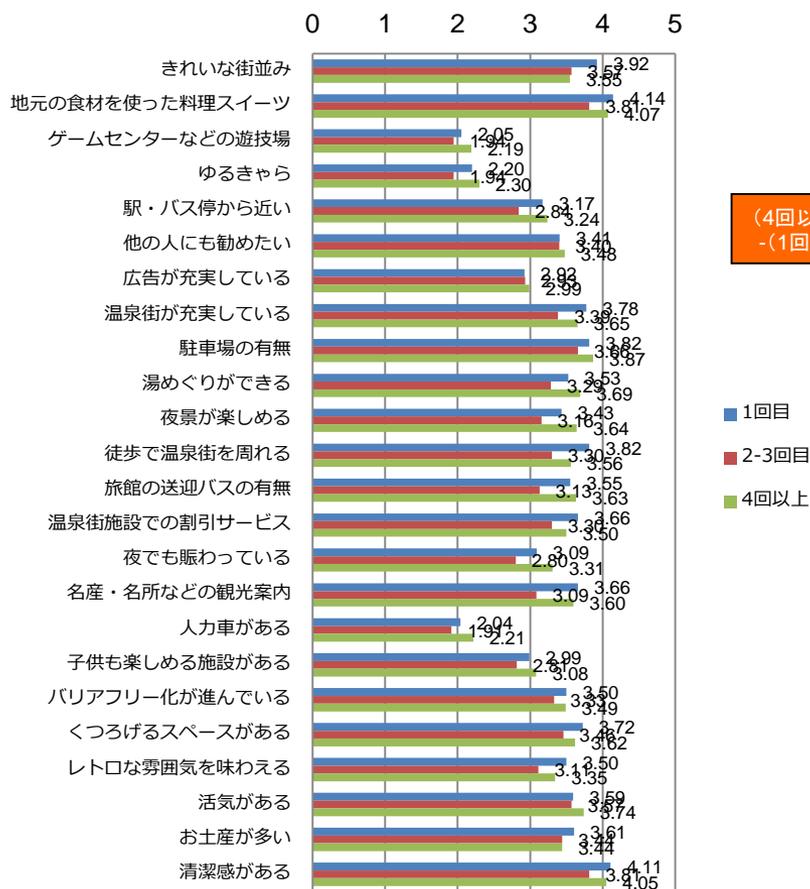


『交通の便の満足度』について
訪問回数を重ねるに連れて満足度上昇

「知っていれば便利である交通が、現段階では広く知られていない」等の原因が予測できる。九州広域観光連携の施策を例に、観光地の一括管理・一括広報による観光地間移動の情報取得を容易にするなどの対策が満足度の向上に繋がると考えられる。

分析結果（訪問回数別重視度・基礎集計）

訪問回数×重視度（N=230）



(4回以上)
-(1回目)

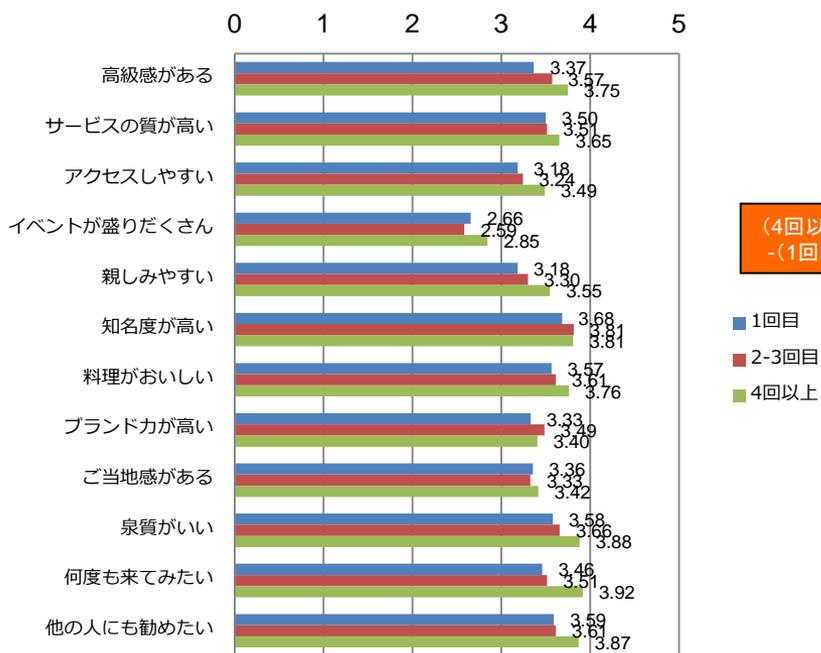
訪問回数別重視度

重視度	1回目	2-3回目	4回以上	(4回以上)-(1回目)	4回以上が重視
きれいな街並み	3.92	3.57	3.55	-0.37	
地元の食材を使った料理スイーツ	4.14	3.81	4.07	-0.07	
ゲームセンターなどの遊技場	2.05	1.94	2.19	0.14	○
ゆるきゃら	2.20	1.94	2.30	0.10	○
駅・バス停から近い	3.17	2.84	3.24	0.07	○
他の人にも勧めたい	3.41	3.40	3.48	0.07	○
広告が充実している	2.92	2.93	2.99	0.07	○
温泉街が充実している	3.78	3.39	3.65	-0.12	
駐車場の有無	3.82	3.66	3.87	0.05	○
湯めぐりができる	3.53	3.29	3.69	0.16	○
夜景が楽しめる	3.43	3.16	3.64	0.21	○
徒歩で温泉街を周れる	3.82	3.30	3.56	-0.26	
旅館の送迎バスの有無	3.55	3.13	3.63	0.08	○
温泉街施設での割引サービス	3.66	3.30	3.50	-0.16	
夜でも賑わっている	3.09	2.80	3.31	0.22	○
名産・名所などの観光案内	3.66	3.09	3.60	-0.06	
人力車がある	2.04	1.91	2.21	0.17	○
子ども楽しめる施設がある	2.99	2.81	3.08	0.10	○
バリアフリー化が進んでいる	3.50	3.33	3.49	-0.01	
くつろげるスペースがある	3.72	3.46	3.62	-0.10	
レトロな雰囲気を味わえる	3.50	3.11	3.35	-0.15	
活気がある	3.59	3.57	3.74	0.15	○
お土産が多い	3.61	3.44	3.44	-0.16	
清潔感がある	4.11	3.81	4.05	-0.06	

訪問回数4回以上の旅客が1回目の旅客よりも重視する項目が、『夜でも賑わっている・夜景が楽しめる』等、『夜間観光』に関する項目である傾向が見られた。検討すべき課題である。また、訪問回数4回以上の旅客が最も重視する項目は『地元の食材を使った料理スイーツ』であった。

分析結果（訪問回数別評価・基礎集計）

訪問回数×評価（N=230）



(4回以上)
-(1回目)

『全項目』において
訪問回数4回以上が1回目より高評価

評価	1回目	2-3回目	4回以上	(4回以上)-(1回目)	4回以上が評価
高級感がある	3.37	3.57	3.75	0.38	○
サービスの質が高い	3.50	3.51	3.65	0.15	○
アクセスしやすい	3.18	3.24	3.49	0.30	○
イベントが盛りだくさん	2.66	2.59	2.85	0.19	○
親しみやすい	3.18	3.30	3.55	0.36	○
知名度が高い	3.68	3.81	3.81	0.13	○
料理がおいしい	3.57	3.61	3.76	0.20	○
ブランド力が高い	3.33	3.49	3.40	0.08	○
ご当地感がある	3.36	3.33	3.42	0.06	○
泉質がいい	3.58	3.66	3.88	0.30	○
何度も来てみたい	3.46	3.51	3.92	0.46	○
他の人にも勧めたい	3.59	3.61	3.87	0.28	○

『(訪問4回以上)-(1回目)』について
差が大きいもの：「何度も来てみたい」
「高級感がある」「親しみやすい」「アクセスしやすい」「泉質が良い」

『何度も来てみたい・高級感がある・親しみやすい・アクセスしやすい・泉質が良い』における満足度の差を縮めることがリピーターの獲得への課題と言える。

分析結果（訪問回数別重視度・主成分分析）

『雰囲気』について

訪問1回目：清潔感を最重視
訪問4回以上：きれいな街並みを最重視

『サービス』について

訪問1回目：人力車を最重視
訪問4回以上：駅・バス停からの近さを最重視

比較表（主成分分析・重視度）

重視度	訪問回数1回目
総合	夜景が楽しめる (寄与率26.47%)
雰囲気 /有料サービス	清潔感がある 人力車がある (寄与率11.11%)
拠点の快適性 /移動の利便性	バリアフリー化が進んでいる 旅館の送迎バスの有無 (寄与率8.83%)
	活気がある 駐車場の有無 (寄与率6.67%)
	累積寄与率53.09%

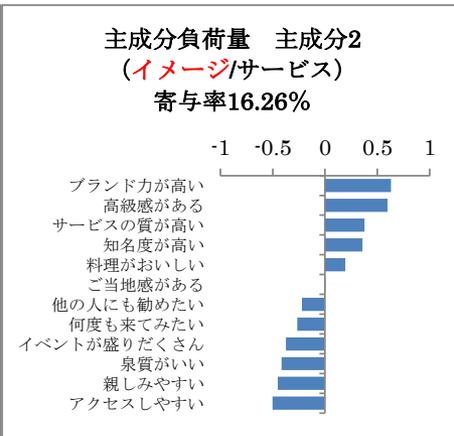
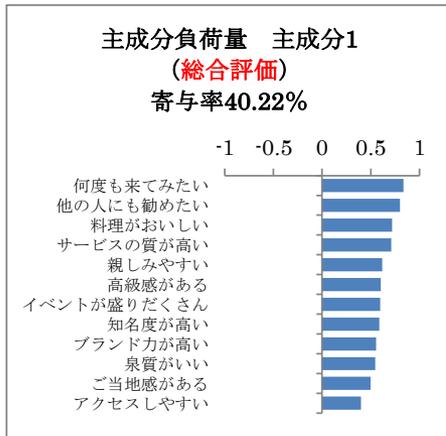
重視度	訪問回数4回以上
総合	くつろげるスペースがある (寄与率35.87%)
同伴者有 /同伴者無	ゆるキャラ 旅館の送迎バスの有無 (寄与率10.83%)
有料サービス /雰囲気	駅・バス停から近い きれいな街並み (寄与率7.50%)
	累積寄与率54.20%

『総合』について

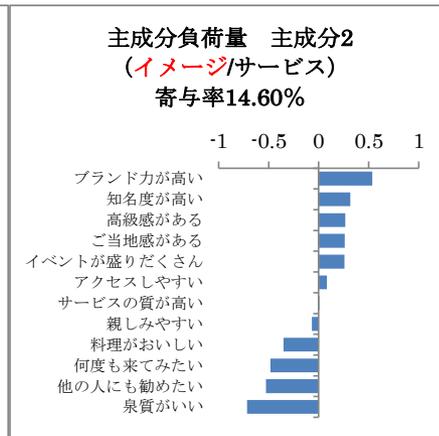
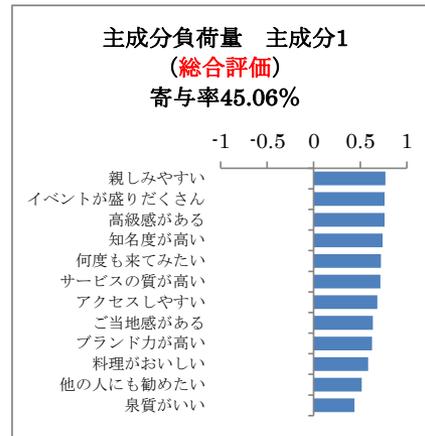
訪問1回目：夜景を最重視
訪問4回以上：くつろげるスペースを最重視

リピーターの獲得にはきれいな街並みや駅・バス停の整備が大きなウエイトを占めること、また、新規旅客の獲得にはきれいな夜景や清潔感の創出に注力する必要があるといえる。

分析結果 (訪問回数別評価・主成分分析)



評価 (訪問回数1回目の旅客)



評価 (訪問回数4回以上の旅客)

比較表 (主成分分析・評価)

評価	訪問回数1回目	評価	訪問回数4回以上
総合評価	何度も来てみたい 他の人にも勧めたい (寄与率40.22%)	総合評価	親しみやすい イベントが盛りだくさん (寄与率45.06%)
イメージ/サービス	ブランド力が高い 高級感がある アクセスしやすい 親しみやすい (寄与率16.26%)	イメージ/サービス	ブランド力が高い 知名度が高い 泉質が良い 他の人にも勧めたい (寄与率14.60%)
	累積寄与率56.48%		累積寄与率59.66%

『イメージ』について
訪問1回目：ブランド力を最評価
訪問4回以上：ブランド力を最評価

『サービス』について
訪問1回目：アクセスの容易さを最評価
訪問4回以上：泉質を最評価

『総合評価』について
訪問1回目：料理を最評価 (※)
訪問4回以上：親しみやすさを最評価

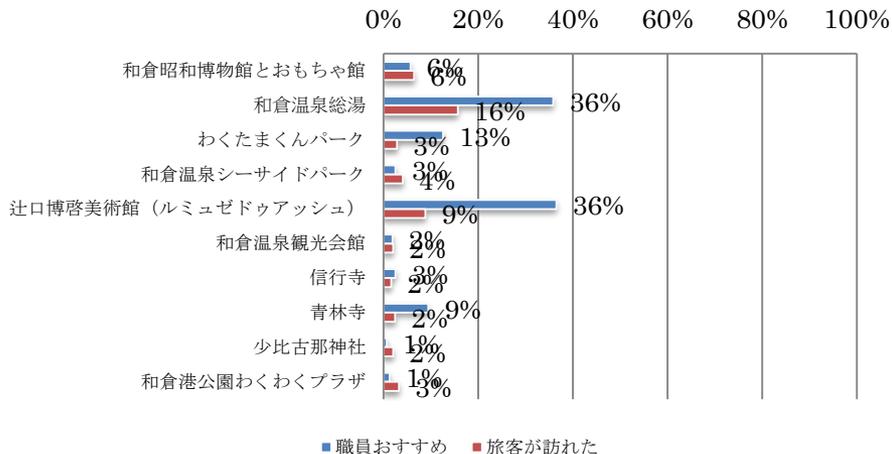
ブランド力を活用した商業展開がリピーター・新規旅客には有効であることがわかった。また、サービスに関しては泉質の維持がリピーターの獲得には有効であることがわかった。

2. リピーター・新規旅行者層の特徴

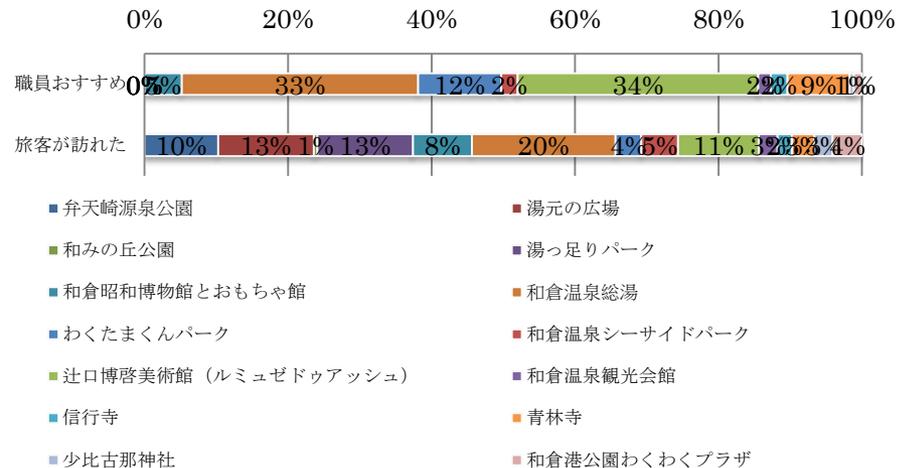
新規旅行者獲得への課題 (和倉温泉街・七尾市内)	リピーター確保への課題 (和倉温泉街・七尾市内)
<ul style="list-style-type: none">・「知っていれば便利である交通手段」の広報活動・きれいな夜景や清潔感の創出 (・ブランド力を活用した商業展開が有効)	<ul style="list-style-type: none">・夜間観光の整備が、きっかけになりそう・新規旅行者の「何度も来てみたい」「高級感がある」「親しみやすい」「アクセスしやすい」「泉質が良い」の評価を向上させる施策が重要・きれいな街並みやアクセスしやすい駅・バス停の整備が重要・泉質の維持 (・ブランド力を活用した商業展開が有効)

分析結果（観光スポット・基礎集計）

観光スポット
(職員N=173, 旅行者N=195)



観光スポット
(職員N=173, 旅行者N=195)

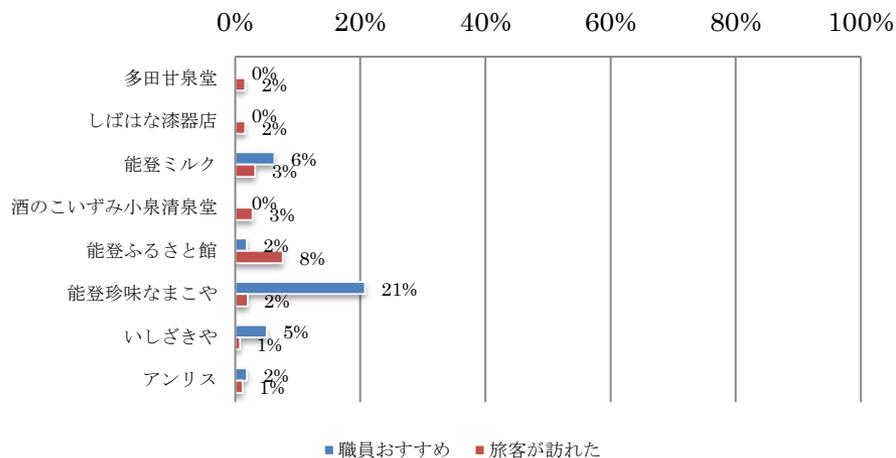


観光スポット						職員おすすめ	旅行者が訪れた	達成率	達成率≥100%
順位	職員おすすめ 項目	割合	n	順位	旅行者が訪れた 項目	割合	n		
1	辻口博啓美術館(ルミゼド)	34%	58	1	和倉温泉総湯	20%	39	-	*
2	和倉温泉総湯	33%	57	2	湯元の広場	13%	26	-	*
3	わくたまくんパーク	12%	20	2	湯っ足りパーク	13%	26	-	*
4	青林寺	9%	15	4	辻口博啓美術館(ルミゼド)	11%	22	158%	*
5	和倉昭と博物館とおもちゃ館	5%	9	5	弁天崎源泉公園	10%	20	61%	
6	和倉温泉シーサイドパーク	2%	4	6	和倉昭と博物館とおもちゃ館	8%	16	31%	
6	信行寺	2%	4	7	和倉温泉シーサイドパーク	5%	10	222%	*
6	和倉温泉観光会館	2%	3	8	和倉港公園わくわくプラザ	4%	8	34%	
9	和倉港公園わくわくプラザ	1%	2	8	わくたまくんパーク	4%	7	148%	*
9	少比古那神社	1%	1	10	青林寺	3%	6	5	89%
11	弁天崎源泉公園	0%		10	和倉温泉観光会館	3%	5	6	35%
11	湯元の広場	0%		10	少比古那神社	3%	5	1	444%
11	和みの丘公園	0%		13	信行寺	2%	4	3	355%
11	湯っ足りパーク	0%		14	和みの丘公園	1%	1	2	
n						173	195		

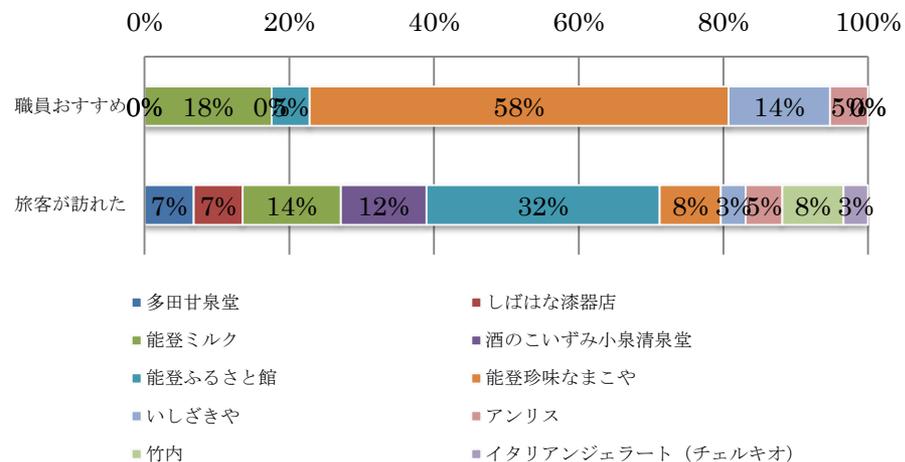
地元職員が「辻口博啓美術館」「和倉温泉総湯」を集中しておすすめしている一方、旅行者動態は比較的分散している。旅行者動態の順位付けにおいて、先述の2スポットは上位に位置しているため、人気であることに間違いはないが、過度で偏りのある意識であると言える。

分析結果（お土産処・基礎集計）

お土産処
(職員N=57, 旅行者N=59)



お土産処
(職員N=57, 旅行者N=59)

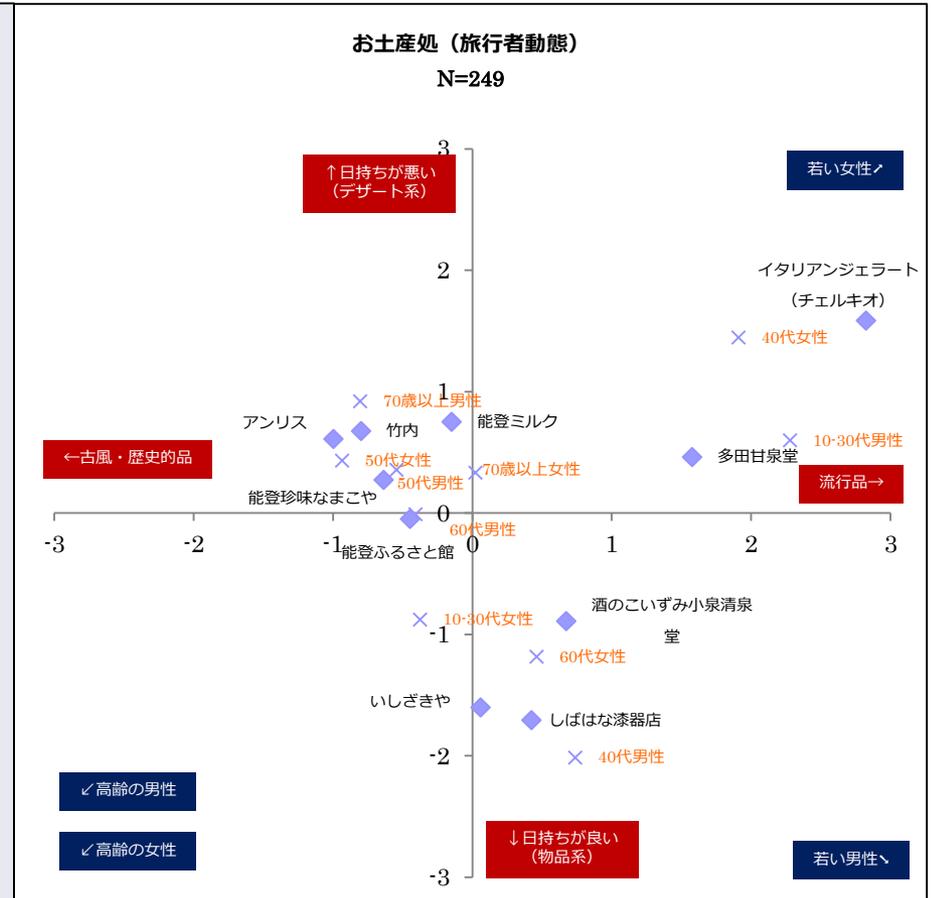
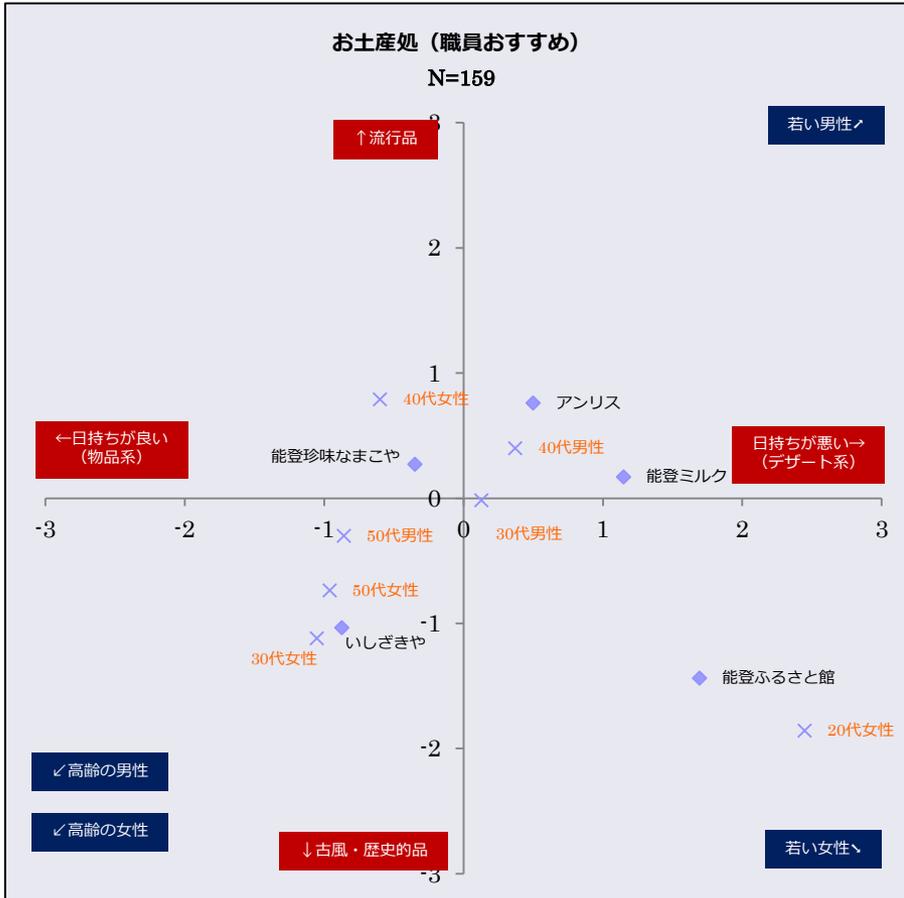


お土産処							
職員おすすめ			旅行者が訪れた				
順位	項目	割合	n	順位	項目	割合	n
1	能登珍味なまこや	58%	33	1	能登ふるさと館	32%	19
2	能登ミルク	18%	10	2	能登ミルク	14%	8
3	いしざきや	14%	8	3	酒のこいずみ小泉清泉堂	12%	7
4	能登ふるさと館	5%	3	4	能登珍味なまこや	8%	5
4	アンリス	5%	3	4	竹内	8%	5
6	多田甘泉堂	0%	0	6	多田甘泉堂	7%	4
6	しばはな漆器店	0%	0	6	しばはな漆器店	7%	4
6	酒のこいずみ小泉清泉堂	0%	0	8	アンリス	5%	3
6	竹内	0%	0	9	いしざきや	3%	2
6	イタリアンジェラート(チェルキ)	0%	0	9	イタリアンジェラート(チェルキ)	3%	2

お土産処	職員おすすめ		旅行者が訪れた		達成率	達成率≥100%
多田甘泉堂	0%	0	7%	4	-	*
しばはな漆器店	0%	0	7%	4	-	*
能登ミルク	18%	10	14%	8	77%	
酒のこいずみ小泉清泉堂	0%	0	12%	7	-	*
能登ふるさと館	5%	3	32%	19	612%	*
能登珍味なまこや	58%	33	8%	5	15%	
いしざきや	14%	8	3%	2	24%	
アンリス	5%	3	5%	3	97%	
竹内	0%	0	8%	5	-	*
イタリアンジェラート(チェルキオ)	0%	0	3%	2	-	*
n		57		59		

地元職員による回答の約58%が「能登珍味なまこや」である一方、旅行者回答割合は約8%程度であり、達成率は約15%と非常に低い値であった。また、能登ふるさと館においては、地元職員と旅行者意識に非常に大きな違いが見られた。

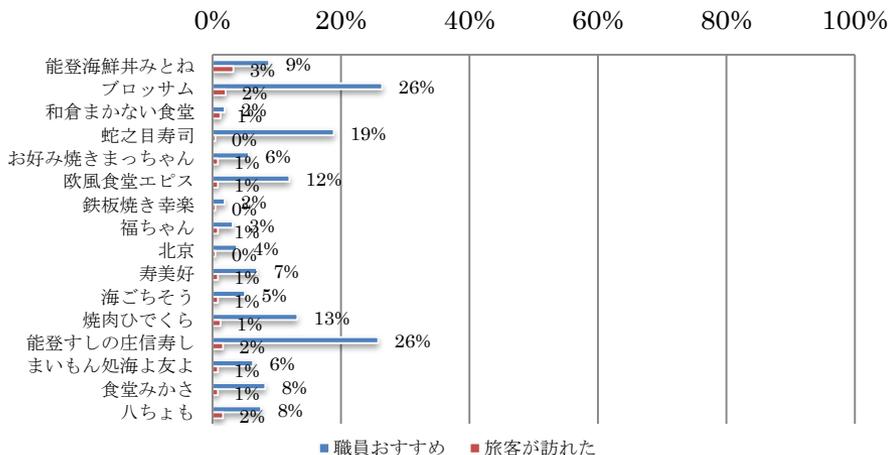
分析結果（お土産処・コレスポネンダンス分析）



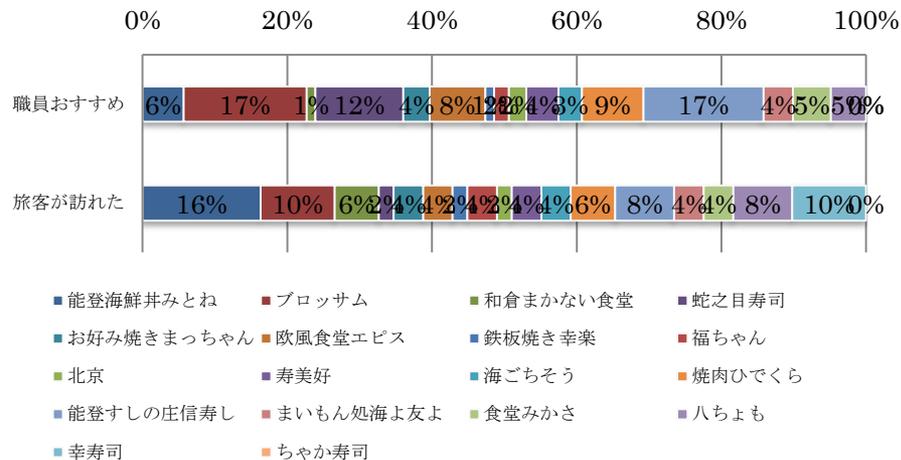
若い男性においては流行品のお土産処を、高齢の男性においては歴史的品のお土産処を、若い女性においては日持ちが悪い品のお土産処を、高齢の女性においては日持ちが良い品のお土産処を選択している点は一致したが、それ以外で意識に違いが見られた。

分析結果 (食事処・基礎集計)

食事処
(職員N=247, 旅行者N=49)



食事処
(職員N=247, 旅行者N=49)



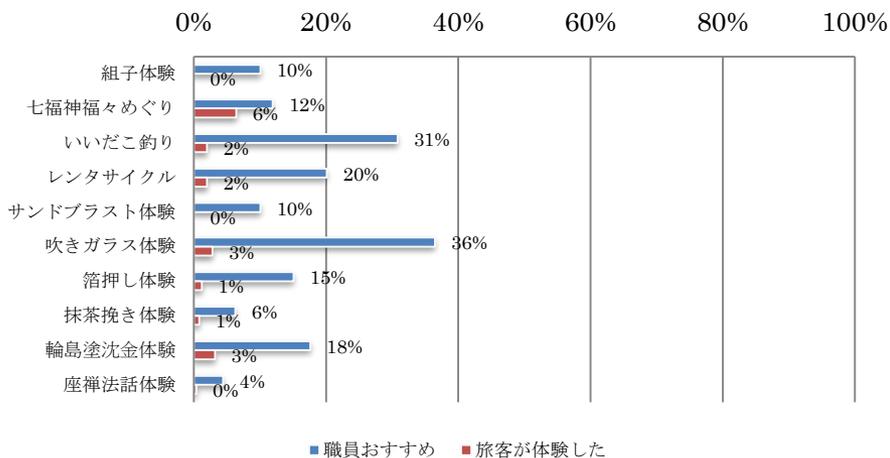
食事処						
職員おすすめ			旅行者が訪れた			
順位	項目	割合	n	順位	項目	割合
1	ブロッサム	17%	42	1	能登海鮮井みとね	16%
2	能登すしの庄信寿し	17%	41	2	ブロッサム	10%
3	蛇之目寿司	12%	30	2	幸寿司	10%
4	焼肉ひでくら	9%	21	4	能登すしの庄信寿し	8%
5	欧風食堂エビス	8%	19	4	八ちよも	8%
6	能登海鮮井みとね	6%	14	6	和倉まかない食堂	6%
7	食堂みかさ	5%	13	6	焼肉ひでくら	6%
8	八ちよも	5%	12	8	お好み焼きまっちゃん	4%
9	寿美好	4%	11	8	欧風食堂エビス	4%
10	まいもん処海よ友よ	4%	10	8	福ちゃん	4%
11	お好み焼きまっちゃん	4%	9	8	寿美好	4%
12	海ごちそう	3%	8	8	海ごちそう	4%
13	北京	2%	6	8	まいもん処海よ友よ	4%
14	福ちゃん	2%	5	8	食堂みかさ	4%
15	和倉まかない食堂	1%	3	15	蛇之目寿司	2%
15	鉄板焼き幸楽	1%	3	15	鉄板焼き幸楽	2%
17	幸寿司	0%	0	15	北京	2%
18	ちやか寿司	0%	0	18	ちやか寿司	0%

食事処	職員おすすめ	旅行者が訪れた	達成率	達成率 ≥ 100%		
能登海鮮井みとね	6%	14	16%	8	288%	*
ブロッサム	17%	42	10%	5	60%	
和倉まかない食堂	1%	3	6%	3	504%	*
蛇之目寿司	12%	30	2%	1	17%	
お好み焼きまっちゃん	4%	9	4%	2	112%	*
欧風食堂エビス	8%	19	4%	2	53%	
鉄板焼き幸楽	1%	3	2%	1	168%	*
福ちゃん	2%	5	4%	2	202%	*
北京	2%	6	2%	1	84%	
寿美好	4%	11	4%	2	92%	
海ごちそう	3%	8	4%	2	126%	*
焼肉ひでくら	9%	21	6%	3	72%	
能登すしの庄信寿し	17%	41	8%	4	49%	
まいもん処海よ友よ	4%	10	4%	2	101%	*
食堂みかさ	5%	13	4%	2	78%	
八ちよも	5%	12	8%	4	168%	*
幸寿司	0%	0	10%	5	-	*
ちやか寿司	0%	0	0%	0	0%	
n		247		49		

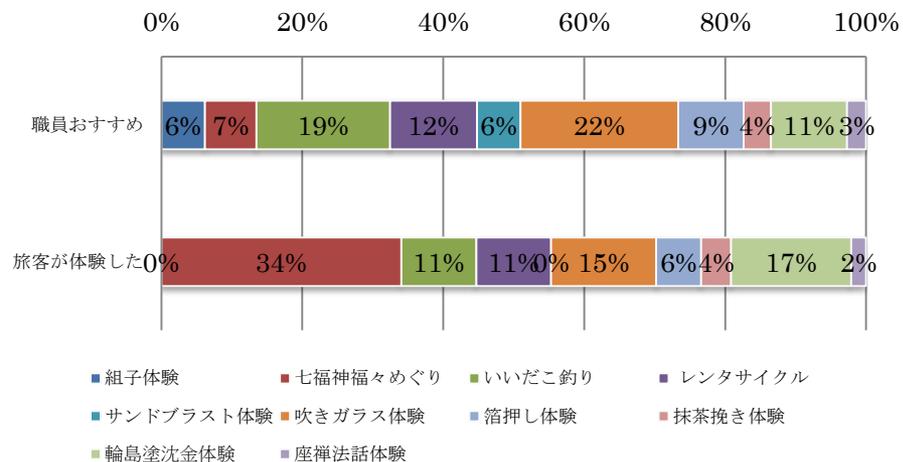
両者ともに回答の分散が見られ、その点は意識の一致が見られた。また、順位付けの上位群においても、概ね意識の一致が見られた。

分析結果（体験プログラム・基礎集計）

体験プログラム
(職員N=259, 旅行者N=47)



体験プログラム
(職員N=259, 旅行者N=47)

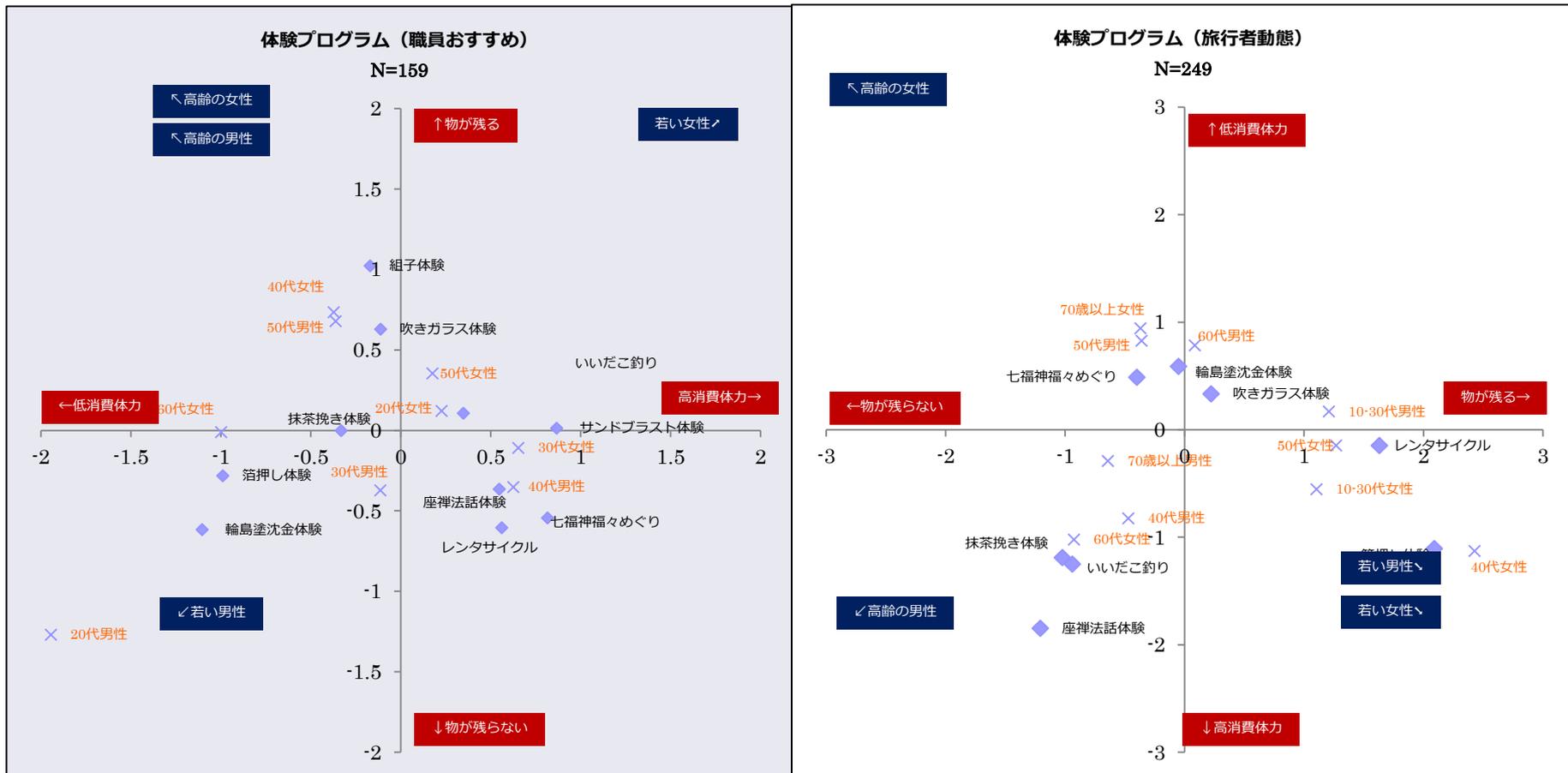


体験プログラム							
職員おすすめ			旅客が体験した				
順位	項目	割合	n	順位	項目	割合	n
1	吹きガラス体験	22%	58	1	七福神福々めぐり	34%	16
2	いいだこ釣り	19%	49	2	輪島塗沈金体験	17%	8
3	レンタサイクル	12%	32	3	吹きガラス体験	15%	7
4	輪島塗沈金体験	11%	28	4	いいだこ釣り	11%	5
5	箔押し体験	9%	24	4	レンタサイクル	11%	5
6	七福神福々めぐり	7%	19	6	箔押し体験	6%	3
7	組子体験	6%	16	7	抹茶挽き体験	4%	2
7	サンドプラスト体験	6%	16	8	座禅法話体験	2%	1
9	抹茶挽き体験	4%	10	9	組子体験	0%	0
10	座禅法話体験	3%	7	9	サンドプラスト体験	0%	0

体験	職員おすすめ		旅客が体験した		達成率	達成率 ≥ 100%
組子体験	6%	16	0%	0	-	*
七福神福々めぐり	7%	19	34%	16	464%	*
いいだこ釣り	19%	49	11%	5	56%	
レンタサイクル	12%	32	11%	5	86%	
サンドプラスト体験	6%	16	0%	0	-	*
吹きガラス体験	22%	58	15%	7	67%	
箔押し体験	9%	24	6%	3	69%	
抹茶挽き体験	4%	10	4%	2	110%	*
輪島塗沈金体験	11%	28	17%	8	157%	*
座禅法話体験	3%	7	2%	1	79%	
n		259		47		

「七福神福々巡り」において、両者の意識の違いが見られた。旅行者に多く参加されているものの、地元職員におすすめされておらず、また、後述の満足した項目にて旅行者に選択されていないことなどから、「七福神福々巡り」の改善が体験プログラムの満足度向上に大きな影響を与えるといえる。

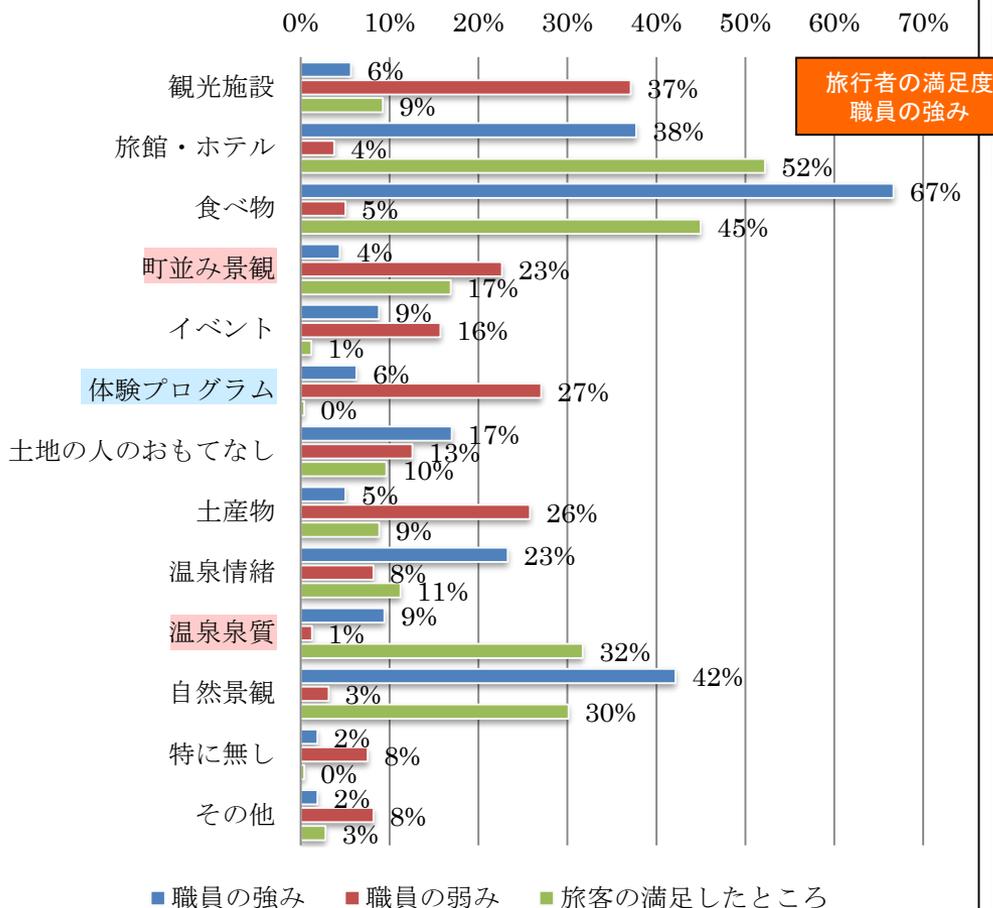
分析結果（体験プログラム・コレスポネンス分析）



若い女性旅行者に対する職員意識は概ね正確である一方、若い男性に対する職員意識は全くの真逆であるといえる。

分析結果（満足度と強み・基礎集計）

強み・弱みと満足した項目 (職員N=266, 旅行者N=547)



旅行者の満足度
職員の強み

選択項目	職員の強み	旅客が満足	達成率	達成率 ≥100%
観光施設	2%	4%	171%	*
旅館・ホテル	16%	24%	145%	*
食べ物	29%	20%	71%	
町並み景観	2%	8%	401%	*
イベント	4%	1%	14%	
体験プログラム	3%	0%	7%	
土地の人のおもてなし	7%	4%	59%	
土産物	2%	4%	184%	*
温泉情緒	10%	5%	51%	
温泉泉質	4%	14%	352%	*
自然景観	18%	14%	75%	
特に無し	1%	0%	22%	
その他	1%	1%	156%	*

満足度の達成率

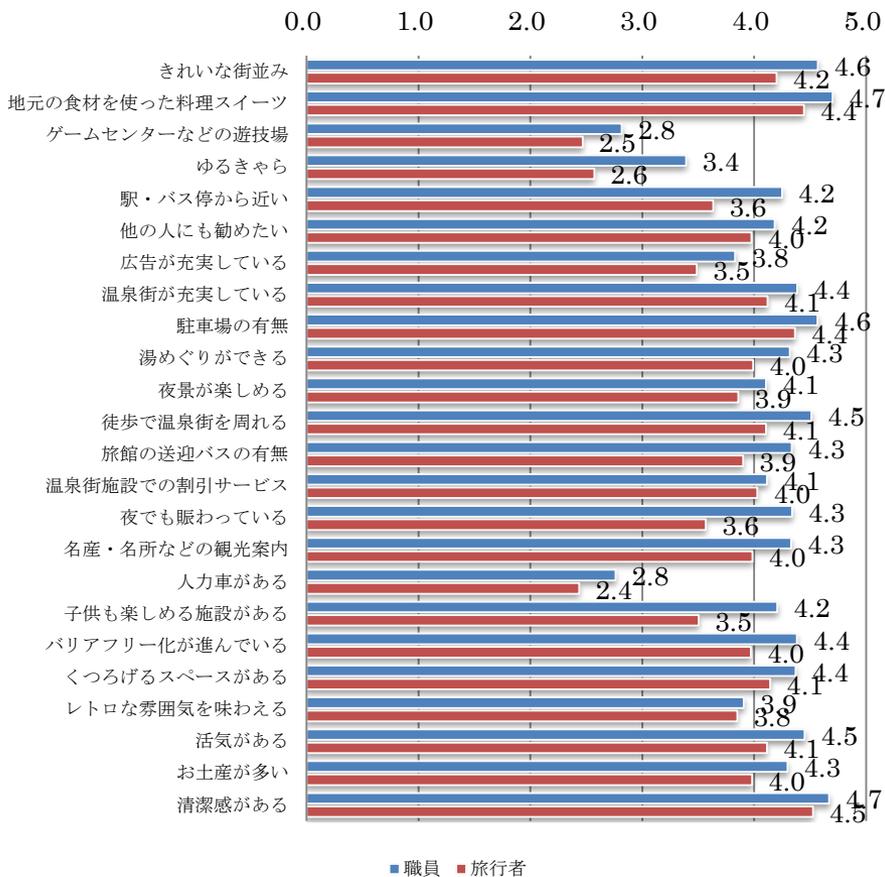
職員が強みとしている割合を成果指標とした場合、旅客満足度の達成率は5/12であった。

達成率が著しく高いものは『町並み景観・温泉泉質』であり、職員が強みとする以上に旅行者が訪れていることがわかった。

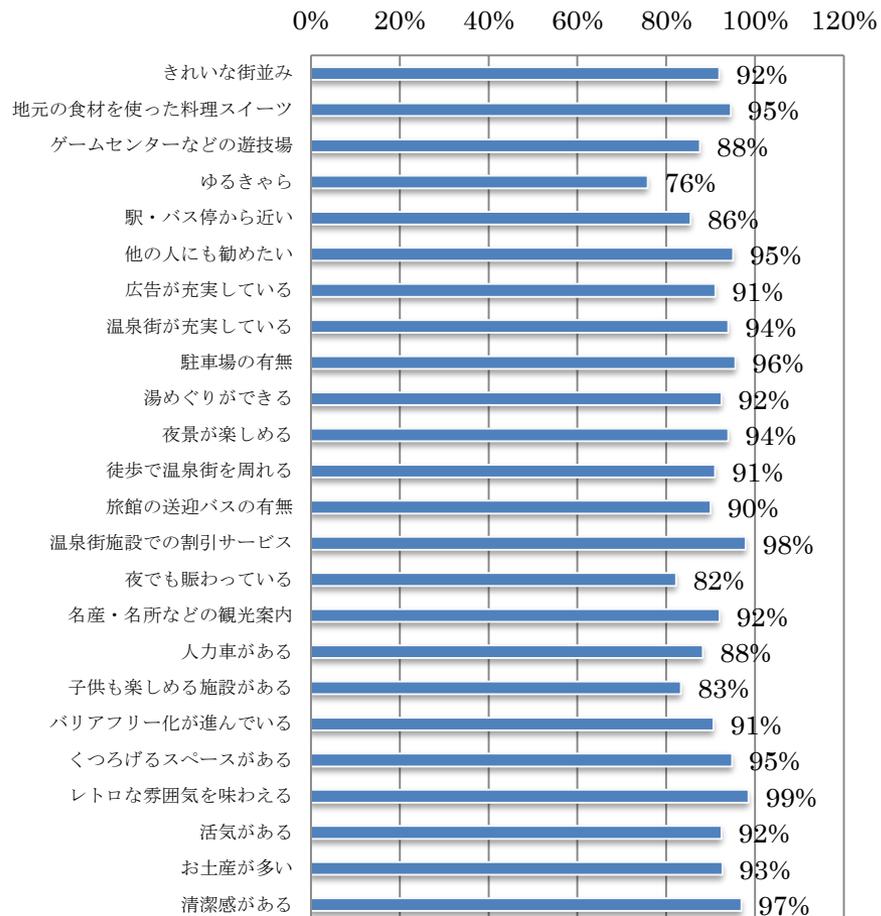
一方、達成率が著しく低いものは『体験プログラム』であり、課題として検討すべき項目である。

分析結果（重視度・基礎集計）

重視・平均点
(職員N=159, 旅行者N=249)

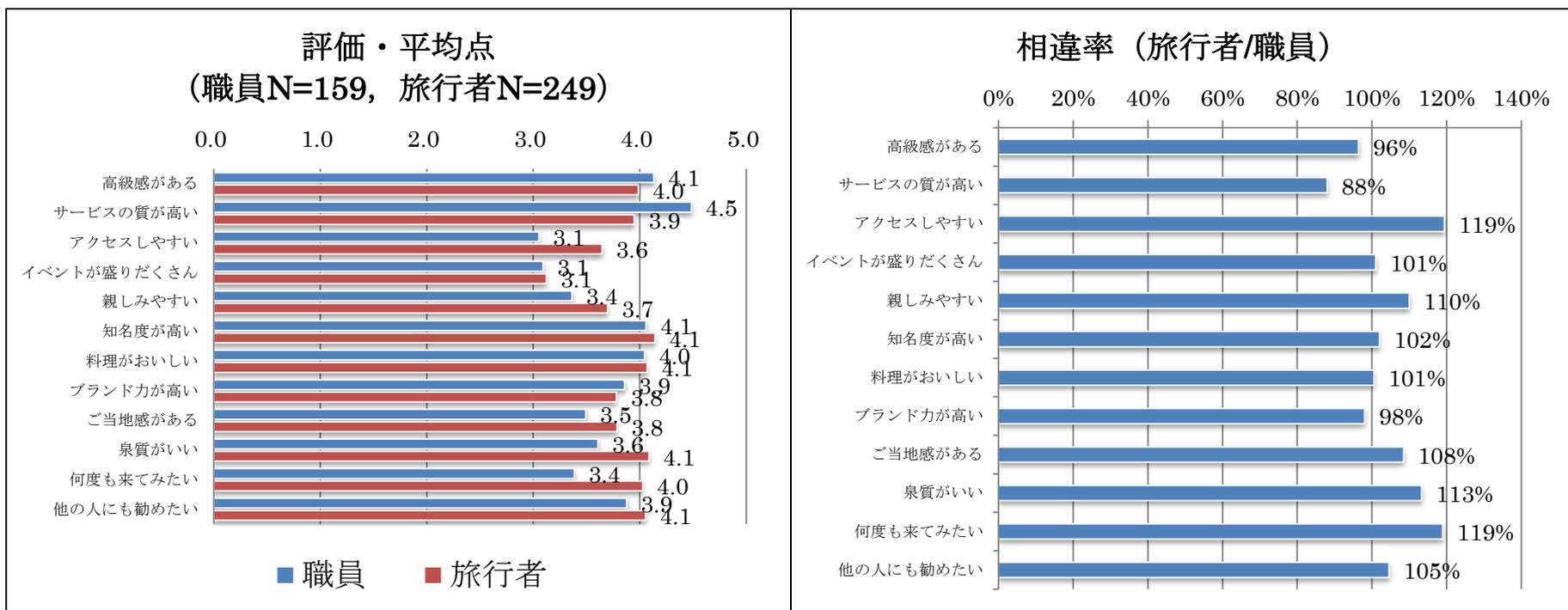


重視度の差異 (旅行者/職員)



また、最も差異の大きかった項目は「ゆるきゃら」であり、旅行者は地元職員よりあまり重視していないこと及び意識の相異が明らかとなった。

分析結果（評価・基礎集計）



旅行者が最も評価している項目は“知名度が高い”であり、地元職員が最も評価している項目は“サービスの質が高い”である。つまり、和倉温泉街に対する魅力の意識に相違が見られた。また、旅行者が最も評価しない項目は“アクセスしやすい”であり、地元職員が最も評価しない項目は“イベントが盛りだくさん”となっている。ここにも、和倉温泉街に対する課題意識に相違が見られた。

まとめ

(研究目的と成果)

① 北陸新幹線開業の直前・直後における旅行者動態の変化や現状の把握

→和倉温泉街においては高齢の夫婦・家族旅行者を、七尾市内においてはビジネス目的旅行者を、能登島においては中部地域からのスポーツ合宿団体旅行者をターゲットとし、また、能登小牧台においては年間旅行回数の多い旅行者を満足させる対応の必要性が明らかとなった。

② 訪問回数別旅行者意識を把握し、リピート要因・新規旅行者層の明示

→リピーターの獲得には夜間観光の整備であったり、泉質の維持が大きなウェイトを占めていることが明らかとなった。また、新規旅行者の獲得には「知っていれば便利である交通手段」の広報活動やきれいな夜景・清潔感の創出が重要であることが明らかとなった。

③ 行政職員と旅行者との意識の違い、及びPRすべきターゲットの明確化

→旅行者満足度が特に低い体験プログラムにおいて、若い女性旅行者に対する職員意識は概ね正確である一方で、若い男性旅行者に対する職員意識は全くの真逆であること、また、和倉温泉街に対して総合的に最も求めているものを、旅行者が“清潔感がある”としている一方で、職員は“清潔感がある”を最も求めないとしているなどを明示した。

まとめ（課題）

（課題）

- ① 北陸新幹線開業の直前・直後における旅行者動態の変化や現状の把握

→北陸地域内における自動車旅行に着目した旅行者の周遊行動パターンの明示的表現方法の検討.

- ② 訪問回数別旅行者意識を把握し、リピート要因・新規旅行者層の明示

→北陸地域におけるリピーター及び新規旅行者の行動選択要因や当地域に感じている魅力の定量的評価方法の検討.

- ③ 行政職員と旅行者との意識の違い、及びPRすべきターゲットの明確化

→地元職員及び旅行者における両者の意識の違いが、当地域の観光分野に与えている影響やその関連性の定量的評価方法の検討.

参考文献

- EVの航続可能範囲の視覚化と観光周遊行動分析に基づく充電施設配置に関する研究
- 観光地における資源分布と周遊性を考慮した時空間アクセシビリティ指標
- 地方のインバウンド観光需要と宿泊サービスに関する考察
- 訪日地選択の多様性に着目した訪日中国人旅行者の居住地別観光行動の時系列分析
- 奈良公園周遊施設における交通手段別訪問行動特性に関する研究
- 都市部観光地における観光入込客数計測の実証的考察
- 観光地における多様な主体の地域変化に関する研究～ニセコ・倶知安地域を事例として～
- 交通整備が観光産業の生産活動へ与える空間的影響の把握
- 宮木の滝周辺における着地型観光地形成手法の適用に関する研究
- 国内観光ナビシステムにおける利用者嗜好反映型コンテンツ提案のための観光情報読解析
- 長崎EV&ITSにおける未来型ドライブ観光の実現に向けた地域発観光ITSコンテンツ・サービス提供システムの構築
- 観光地の「リアプレイ」化におけるおもてなし効果に関する基礎的研究
- 旅行日数の整数性を考慮した旅行費用法による観光地の質改善便益計測：バイアスと修正方法
- 近年における訪日中国人旅行者の観光行動
- 「訪日外国人消費動向調査」を用いた訪日旅客の観光消費特性に関する分析
- 受け入れ国の旅客誘致戦略が旅客需要に与える影響に関するマクロ分析
- 観光ツアーを対象とした「インタビュー」プラットフォームの利用意向に関する研究
- 「長崎EV&ITSプロジェクト」～EV実運用の課題と対応、未来型ドライブ観光の実現に向けて～
- 恒久実施に向けた観光ピーク時における交通課題・周遊性向上施策の検討～平成産都1300年祭におけるTDM施策の実施を通して～
- 広域バス路線における地元自治体間の費用負担ルールに関する研究
- 地域運営による広域レンタサイクル社会実験に関する考察
- 広域自転車利用促進計画の策定に関する一考察～奈良県自転車利用促進計画を事例として～
- 周遊観光における観光施設の質改善便益分析
- 国内旅行におけるリピーターの行動特性及び離脱要因に関する研究
- 客観指標および外国人来訪者の意識のみから旅行環境の整備評価の分析
- 観光情報webサイトの評価に関する基礎的研究
- シーニックバイウェイ北海道のシーケンス景观の特徴
- 歴史的観光のユニバーサルデザイン化に向けた観光ガイドの活用可能性の検証
- 歴史的公園周辺観光地における交通まちづくりの受容性－川越一帯の取り組み
- 奈良公園周遊での観光交通サービス及び情報提供の充実に対する行動変容に関する実証的検証
- 小規模な都市と観光地における魅力的な圏域形成のための基本的課題
- 観光モビリティ・マネジメントについての技術開発：京都・奈良での取り組み事例
- 観光を目的とした地域間交流モデルによる経済効果の計測
- ベイス・マルチレベルモデルを用いた観光交通人口に関する基礎的研究
- カーシェアリングと公共交通との連携を考慮した周遊観光交通システム提案
- GPSロガーによる自転車を利用した観光（ツー）の分析と観光システムに関する考察
- 歴史都市における観光客の行動分析に基づく災害時避難に関する研究
- 観光地における地域活性化と連携した公共交通の利用促進方策に関する検討
- 観光資源として評価のみから歴史都市の文化遺産防災に関する考察
- ドライブ観光総合情報誌が観光行動及び意識に与える影響に関する研究
- 視覚障害者の観光行動の意思決定に影響を与える要因に関する研究～倉敷市美観地区をケーススタディに～
- アクセシビリティ再考～観光モデル構築をめぐって～
- 国内宿泊観光の宿泊地に関する実態把握と施策ターゲットの抽出
- 旅行満足度の構造分析
- 旅行者の周遊行動から見た観光圏域の推定方法
- 外航クルーズ客船の消費活動が地域・観光振興に与える効果の分析
- イベント政策評価に資する分析手法の整理
- 近代化産業遺産の産業観光の実態に関する一考察
- 観光基地システム構築を中心とする都市再生・発展構想計画に関する事例研究～奈良県大和郡山布を対象として～
- 広域都市計画区域の行政調整の実状と課題－地方中核都市圏を事例として－
- 都市圏カパシティにおける自治体間連携の理論的検討
- トリップ（バス）に基づく自治体間交通連携の必要性に関する分析
- 池田市におけるモビリティマネジメントと環境・まちづくり施策と連携した取り組みの展開
- 企業データを用いた国内宿泊観光の施策ターゲット抽出に向けた基礎的研究
- 一般道路における旅行時間データの収集及び処理方法に関する検討
- 周遊観光の信頼性向上による観光行動圏拡大に関する研究
- 地方部観光地へのカーシェアリング導入評価モデルの構築
- 既存の観光地入込み調査データを活用した道路整備効果分析方法の実証的研究
- W調査による観光ガイドの評価に関する研究
- 戦前における日本の国際観光政策に関する基礎的研究
- 訪日リピーター離脱の要因にもとづく観光地マーケティング戦略に関する研究
- 訪日中国人旅行者の居住地地域別観光行動に関する研究
- びわ湖・近江路観光圏における周遊観光行動の基礎的研究
- 「地域力強化」の活力に関する解釈学的研究：「観光力リスマ」へのインタビュー調査を事例として
- 九州新幹線部分開業における観光に関する取り組みとその効果に関する考察
- 観光客の行動分析に基づいた歩行者サインシステムの提案～奈良県大和郡を事例として～
- 都市内観光路線（バス）の評価に関する基礎的研究
- 中山間地域を対象としたバス・連携による地域づくりに関するケーム論的分析
- 都市基盤整備を対象としたバス・サービス提供者の意識調査について* 国・県・政令市・市町村の比較～まちづくりにおける「地域力リスマ」の超利他的動機の規定要因に関する実証的研究
- 「連携」に着目した持続可能な生活圏形成に関する一考察
- 観光地滞在時間特性に関する日中比較分析：観光周遊行動調査データを用いて
- 連携効果を考慮した訪日外国人の宿泊地選択モデル
- 外国人来訪者の東京都圏内周遊行動の実態分析
- 訪日中国人観光旅行者の居住地別観光行動の基礎的研究
- 階層分析手法に基づくクルーズ客船発着の寄港地選択決定要因の分析
- ブログ情報を用いた観光行動と満足度の分析に関する一考察
- 旅行先への活動に着目した国内観光行動の時系列分析
- 地域観光入込客数の計測方法に関する基礎的研究～海水浴場の実務的来訪客数推定方法の提案
- 観光振興という地方都市活性化を担った街づくりの方法論に関する研究
- 地方部の道路整備と観光圏形成に関する基礎的研究
- 交通モードの融合・連携のための地域協議会の役割と課題
- 紙と情報技術の連携利用による公共交通案内の満足度評価の分析
- 持続可能性を高める広域計画のカパシティに関する研究
- 都市圏における広域（バスマップ）の意義と課題
- 小規模・高齢化集落における広域移動型生活交通サービスの実証運行
- 広域圏における地域公共交通総合連携計画策定の役割と機能に関する考察～南信州広域15市町村の事例より～
- 地方部における広域・幹線路線の実態と課題*～岩手県を事例として～
- 地方部における広域・幹線路線の実態と課題*～岩手県を事例として～
- バス・ケーブル車を観光時間信頼性指標とした均衡配分モデル及びその金沢市道路ネットワークへの適用
- 都市部高速道路を対象とした旅行時間信頼性に関する新たな評価手法の研究
- 都市部高速道路の旅行時間の管理者・利用者による旅行時間信頼性指標との関係
- 風評被害に対する旅行者意識構造分析・石川県能登半島地震を対象として
- 幹線道路の不確実性を考慮した旅行時間別分担・配分統合評価ネットワーク均衡モデルの構築
- 幹線道路における沿道アクセス機能に応じた旅行速度性能曲線の定式化
- 首都圏高速道路における流入制御を見据えた入口転換行動のバタン化への挑戦
- 集計KQを用いたエリア流入制御の有効性に関する研究
- 色情報報のマッチングによる旅行時間計測
- 広域道路網整備の便益計測手法に関する実証的研究～三遠地域のケース～
- ブログ情報を用いた観光行動・意識分析の適用可能性に関する基礎的研究
- ブログ（ツー）調査を用いた観光周遊行動に関する基礎的研究
- 我が国におけるクルーズ観光の実態分析
- 高山市における観光客の交通手段選択の可能性に関する考察
- 長浜観光と地域連携の可能性について
- 地方都市を対象とした合宿観光促進による地域活性化策の検討～石川県七尾市の合宿誘致を対象として～
- 四国における観光を目的とした地域間交流に関する研究
- 観光基盤整備を中心とする都市間観光に関する実証的研究～歴史的・風土の観光資源を有する都市を対象として～
- 観光地におけるT D Oの施策による観光車両コントロールの可能性に関する研究
- 別所線の利用促進と沿線の観光振興を組み合わせた観光型モビリティ・マネジメントの効果検証
- 広域連携型組織による持続的な交通まちづくり活動に関する考察
- 諸外国における「みず」をテーマとした観光・地域振興
- ドライブ観光におけるカーボンフットプリント型ツアーの有効性に関する研究～洞爺湖地域におけるモニターツアー参加者意識の把握～
- 宗谷地域における環境学習型ドライブ観光に関する取り組み
- 台湾人観光客のドライブ観光に関する意識調査
- 北海道における外国人ドライブ観光客の支援方策と効果
- 沖縄県離島地域における海水問題と観光の影響に関する分析
- 日本・中国・韓国における観光行動の実態分析
- 観光振興を中心とする都市再生をめざした宿泊施設・観光拠点整備に関する研究－奈良県大和郡山布を対象として～
- 観光力と交通行動分析に基づく観光交通戦略
- 沖縄におけるクルーズ観光の現状と展望
- 佐渡島来訪者の意識と行動に関する分析
- 公共交通サービスを通じた都市間移動の地域格差分析
- 観光旅行者の幹線交通機関選択における意思決定プロセスの分析
- 京阪神都市圏における観光地地間トリップ・サービスの選択に関する研究
- 観光調整ネットワークを用いた沖縄本島内の観光交通分析手法に関する研究
- 京都観光行動調査における沖縄観光行動の基礎的考察と消費行動のモデル推定
- 観光観光行動特性に関する研究
- 簡易な行動調査データによる観光周遊行動実態把握の可能性
- 大都市観光地域と観光周遊行動における観光（バス）客問題に関する一考察
- 歴史的都市における障害者の観光行動（ニーズ）に関する基礎的研究
- わが国と旅行環境に対する外国人来訪者の評価に関する研究
- 鉄道会社と商業施設による連携による地場の活性化
- 旅行頻度から見た地方広域プロムにおける新幹線導入の効果に関する研究
- 広域都市圏における外国人レンタカードライブ観光のニーズと課題
- 北海道における外国人レンタカードライブ観光のニーズと課題
- 秋吉台におけるDITVを活用した観光振興に関する実証研究
- 都市観光マーケティングとリピーターに関する基礎的考察
- 観光地入込客の時系列変化に関する分析
- 飛騨高山の事業者から見た地域振興と観光活性化に関する考察
- セントラブルITSによる地域の交通課題解決に向けた土木学会と行政の連携
- 北海道における外国人ドライブ観光を支援する情報提供について*－シンガポール・香港からのレンタカー旅行に関する実証実験
- 観光交通へのモビリティ・マネジメントの適用－知床世界遺産地域での取り組み－
- ブログ（ツー）調査手法の簡素化と観光交通調査への適用
- 広域交通政策における問題把握と課題抽出手法-関東圏交通政策を事例とした分析-
- 観光地の魅力度評価－魅力ある国内観光地の整備に向けて－
- 地方圏における県界を越えた地域連携の方法に関する研究
- 観光を目的とした都市間交通行動に関する基礎的研究
- ソフト施策の定着に向けた地域圏域（コミュニティFM）との連携について
- 広域地方計画・土木計画学の役割
- 坂のまちにおける観光ユニバーサルデザインの分析方法-京都と小樽の比較から-
- （仮称）観光まちづくり法による新たな国土・まちづくりの推進
- 観光地における世代別来訪者の行動に関する研究
- 多様な主体との連携による観光交通ホスピタリティの向上
- 地元との協働による観光地交通対策の取組
- 観光計画と人材育成
- 観光地を含む面的交通安全対策に関する研究
- ブログ（ツー）調査を用いた観光行動分析
- 観光行動に着目した将来航空需要予測のための基礎的研究
- 訪日韓国人のレンタカーによる観光周遊行動の分析
- 国内観光行動の時系列分析
- 回遊経路特性と観光行動志向に関する分析
- 断面交通量データに基づく滞在周遊行動の分析
- 公共交通による大規模都市開発事業の推進方策に関する研究
- 都市部における休日の歩行周遊経路選択の分析
- 全国市町村アンケートからみた「二層広域圏」の現状に関する一考察
- 二層の広域圏と総合的な運体系
- 山間部観光地への戦略的訪来促進策に関する基礎的研究
- 観光圏形成に向けた観光資源の地域間連携に関する分析
- 高山県観光の現状と今後の観光振興
- 観光統計を用いた都市の類型化による中心市街地分析と中心市街地活性化基本計画の連携について
- 国内観光旅行計画立案システムに関する基礎検討
- 広域事業における観光サービス提供の持続性に関する研究-北海道の旧産炭地でのまちづくりを事例として-
- 伝統的建造物群を用いた観光空間の創成とその特色-山口県萩市と島根県津和野の場合-
- 室蘭市における産産観光の可能性
- 国内航空旅客の旅行特性の経年変化に関する分析
- 交通利便性からみた広域都市圏の人口推計に関する研究
- 観光統計を活用した歴史・文化の観光資源の持続可能性とまちづくり施策に関する研究
- まちづくり促進に向けた観光モビリティ・マネジメントの取組－豊後大津周遊を対象として－
- 大規模災害が観光振興に与える影響の評価方法の検討：時系列（ネルデータ）結合アプローチ
- 観光ドライブ調査による満足度と行動量の関係-加賀温泉郷を例として-
- 観光行動におけるIT機器活用に関する基礎的調査～宮崎県南地域を対象として～
- 複数の観光統計の連携データおよび都市間交通データを用いた国内宿泊観光行動の時系列分析
- 地域内拠点と有効活用した着地型来訪客の周遊観光誘引に関する基礎的検討～御殿場市東山地区を対象とした基礎調査結果の把握～
- 首都圏観光スポットの話題性に関する考察
- 日本人と外国人の観光消費がもたらす地方への経済的効果-東日本大震災前後の比較-
- 歴史的市街地における観光周遊と消費行動に関する基礎的考察－宮島を事例として－
- 広域自治体の総合評価方式実施における第三者委員会の運営状況について
- 階層型ネットワークを考慮した広域道路ネットワークのサービス水準に関する研究
- 広域調整手続きと連動した集約型都市構造化評価の枠組み
- 社会インフラ形成を題材とした観光ツアーにおける物語の果たす役割～土木遺産ツアーの実施を通して～
- 地域に対する観光客のリピーター旅行行動のメカニズム化についての試案～“飽き”と同行者変更が再訪意向に及ぼす影響～
- 目的地選択確率を用いたアジア諸国の誘引力に関する基礎的研究
- 観光振興に直結する品質評価の手法と展望～雪国観光圏における宿泊施設評価認証の実証から～
- GPSデータによる観光実態の分析
- 観光ピーク時における観光実態中心市街地の渋滞緩和のためのP&BR施策の検討
- 市民連携による交通・観光まちづくり
- 「民間の電気自動車プロジェクト」電気自動車の普及と観光を支援するITSの活用について～長崎県ヒッコにおける実証より～
- 長崎EV&ITSにおける未来型ドライブ観光の実現に向けた地域発観光ITSコンテンツ・サービス提供システムの構築
- 都市交通政策による都市の魅力や賑わいの創出と観光活性化
- 楽天トラベル「2015年総まとめ」予約急上昇のレンタカー貸出エリア 年間人気ランキング「2015.12
- <http://travel.rakuten.co.jp/ranking/special/trend/rentalcar/>
- 平成25年漁業・畜産業生産統計
- https://www.teikokuchosei.com/jp/statistics/japan_world/japan/first/fugu.html
- 石川県ホームページ
- <http://www.pref.shikawa.jp/shink/hokuriku/shinkansen/about.html>
- 漁業の魚種別漁獲量ランキング（平成24年）
- <http://www.region-labo.com/archives/list-ist-6682/>

ご清聴ありがとうございました。

